

■2017年度前期 授業アンケート結果集計（演習・実験・実習）

<全学集計>

■集計グループ	全学集計
■履修登録者数	6,868人
■アンケート回答数	6,182人
■回収率	90.0%
■学生所属学部	

学部名	回答件数	構成比
教育学部	2,888	46.7%
外国語学部	1,705	27.6%
経済情報学部	485	7.8%
看護学部	912	14.8%
羽島教養（合同）	1	0.0%
短期大学部	0	0.0%
無回答	191	3.1%
合計	6,182	100.0%

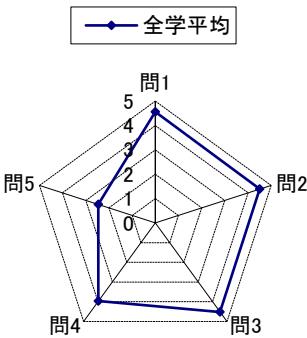
■学年

学年	回答件数	構成比
1年	2,266	36.7%
2年	1,471	23.8%
3年	2,052	33.2%
4年	205	3.3%
無回答	188	3.0%
合計	6,182	100.0%

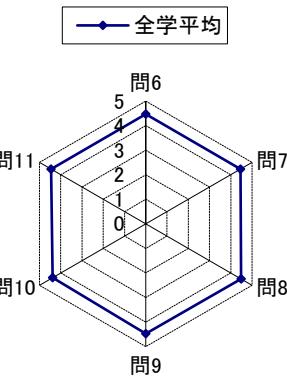
■性別

性別	回答件数	構成比
男	2,611	42.2%
女	3,236	52.3%
無回答	335	5.4%
合計	6,182	100.0%

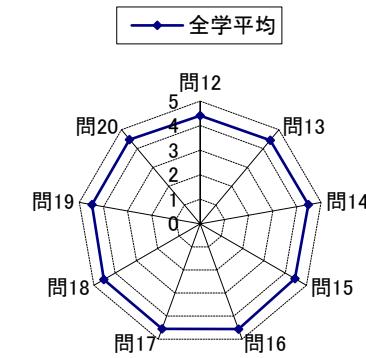
<学修意欲>



<授業内容>

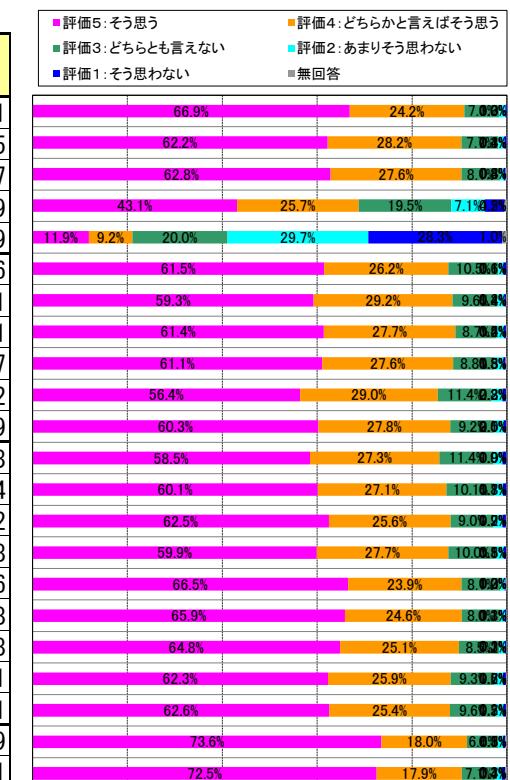


<授業方法>



■設問別評価集計表

アンケート設問内容		評価平均	評価構成（件数）					無回答
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
学 修 意 欲	1 授業への出席率はどの程度でしたか。	4.6	4,133	1,495	452	82	19	1
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話（メール）はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.5	3,845	1,746	479	80	27	5
	3 学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.5	3,885	1,706	498	52	24	17
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	4.0	2,665	1,586	1,204	438	260	29
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい予習または復習を行いましたか。	2.5	733	569	1,237	1,835	1,749	59
授 業 内 容	6 シラバスに基づき授業が進められた。	4.5	3,801	1,618	652	65	40	6
	7 基礎的内容から徐々に応用、専門的内容へと発展性があった。	4.5	3,664	1,808	591	85	23	11
	8 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.5	3,797	1,714	538	95	27	11
	9 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性を感じられるものであった。	4.5	3,775	1,708	542	110	30	17
	10 知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.4	3,487	1,792	703	141	47	12
授 業 方 法	11 この授業は全体として満足のいくものであった。	4.5	3,725	1,718	571	126	33	9
	12 教科書、参考文献、教材（視聴覚教材を含む）などが、効果的に活用された。	4.4	3,616	1,685	707	116	55	3
	13 授業を進める速さは適切であった。	4.4	3,717	1,676	626	114	45	4
	14 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.5	3,862	1,585	559	119	45	12
	15 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.5	3,705	1,713	619	109	28	8
環 境	16 教員は安全に対して十分に留意しつつ授業を行った。	4.6	4,111	1,480	502	60	13	16
	17 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.5	4,072	1,522	495	68	17	8
	18 研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.5	4,007	1,549	527	75	16	8
	19 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.5	3,849	1,600	576	107	39	11
	20 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.5	3,868	1,572	594	103	34	11
	21 授業クラスの人数は適切である。	-	4,547	1,113	405	68	30	19
	22 教室の広さや環境は適切である。	-	4,485	1,109	437	84	46	21



(設問1)評価5:100%、評価4:90%台、評価3:80%台、評価2:70%台、評価1:70%未満

(設問5)評価5:3時間以上、評価4:2~3時間、評価3:1~2時間、評価2:1時間未満、評価1:0時間